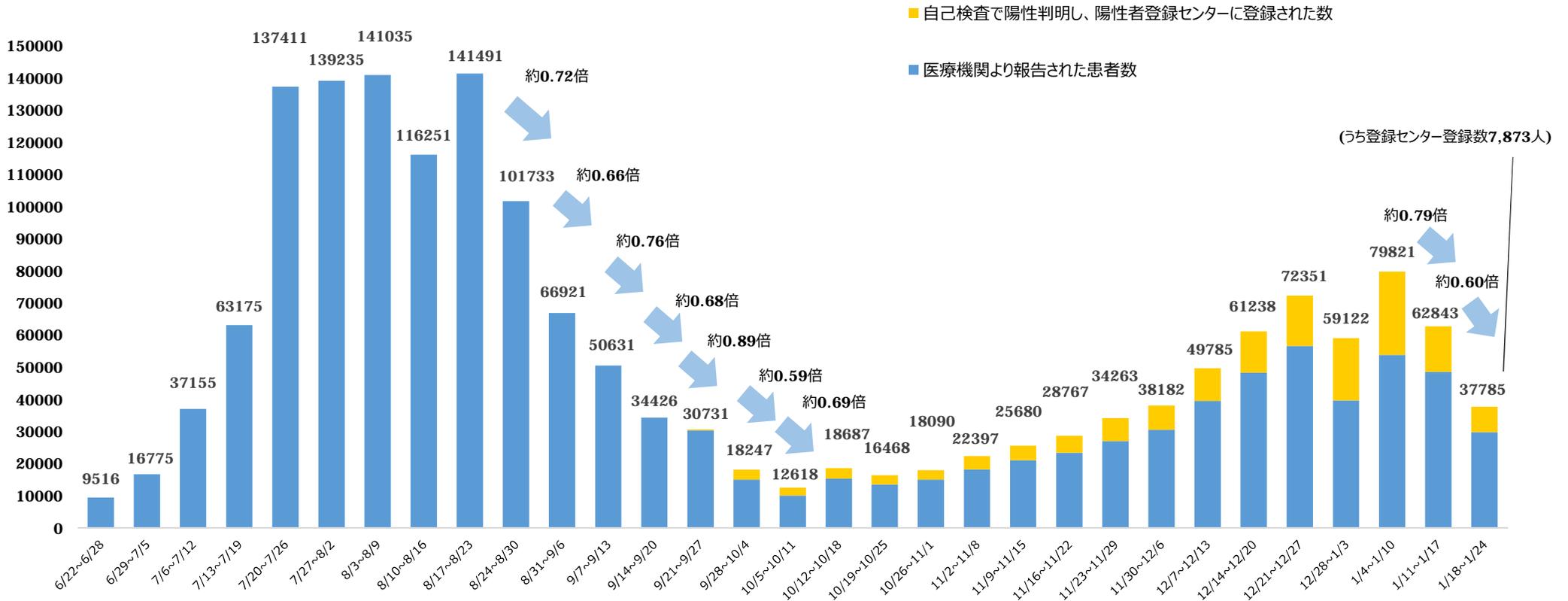


# 7日間毎の新規陽性者数(1月24日時点)

フリップ①

◆ 直近1週間の新規陽性者数は5,398人/日で、減少傾向。

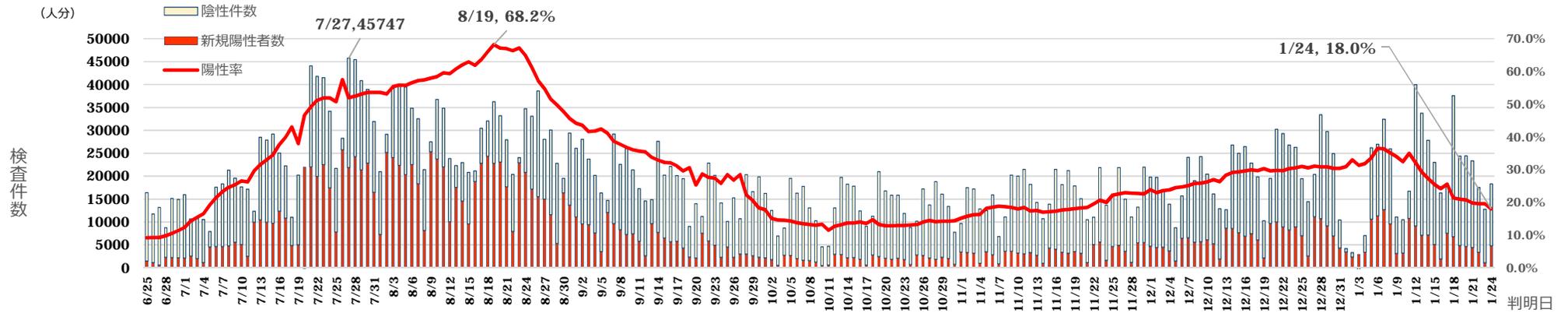
(人)



# 検査件数と陽性率（1月24日時点）

◆ 陽性率は1月24日時点で**18.0%**と減少傾向。  
 1月9日～1月15日の1週間における陽性判明率は、**自費検査は7.0%、無料検査は9.9%**と、共に減少。

## 【行政検査】



※令和4年9月27日以降の新規陽性者数は医療機関より報告された患者数

※令和4年9月27日以降の陽性率の算出方法は以下のとおり  
 分子：直近1週間で把握した医療機関から報告のあった患者数の合計  
 分母：直近1週間で把握した医療機関から報告のあった検査件数の合計

## 【自費検査】

自費検査提供機関（府内に営業所がある自費検査のみを提供する民間会社等）及び  
 新型コロナ検査実施事業者（薬局等）において有料で実施した検査件数

期間	自費検査件数	(参考値) 陽性判明数	陽性判明率
12/26～1/1	2,839 件	353 名	12.4 %
1/2～1/8	2,596 件	388 名	14.9 %
1/9～1/15	3,311 件	231 名	7.0 %

## 【無料検査】

新型コロナ検査実施事業者（薬局等）で実施された検査件数  
 （ワクチン検査パッケージ・対象者全員検査等定着促進事業と感染拡大傾向時の一般検査事業の合計）

期間	無料検査件数	(参考値) 陽性判明数	陽性判明率
12/26～1/1	56,123 件	5,408 名	9.6 %
1/2～1/8	46,179 件	7,169 名	15.5 %
1/9～1/15	47,214 件	4,652 名	9.9 %

※このほか、高齢者施設等（入所・居住系）の従事者に対する抗原キット定期検査を実施。

※陽性判明数の中には、府外に発生届が提出されている人や確定診断されていない人も含まれるため、陽性判明数は参考値としている。  
 （陽性者数は、国のシステム（HER-SYS）上、行政検査、自費検査、無料検査、のいずれかで陽性となったかは区別ができない。）

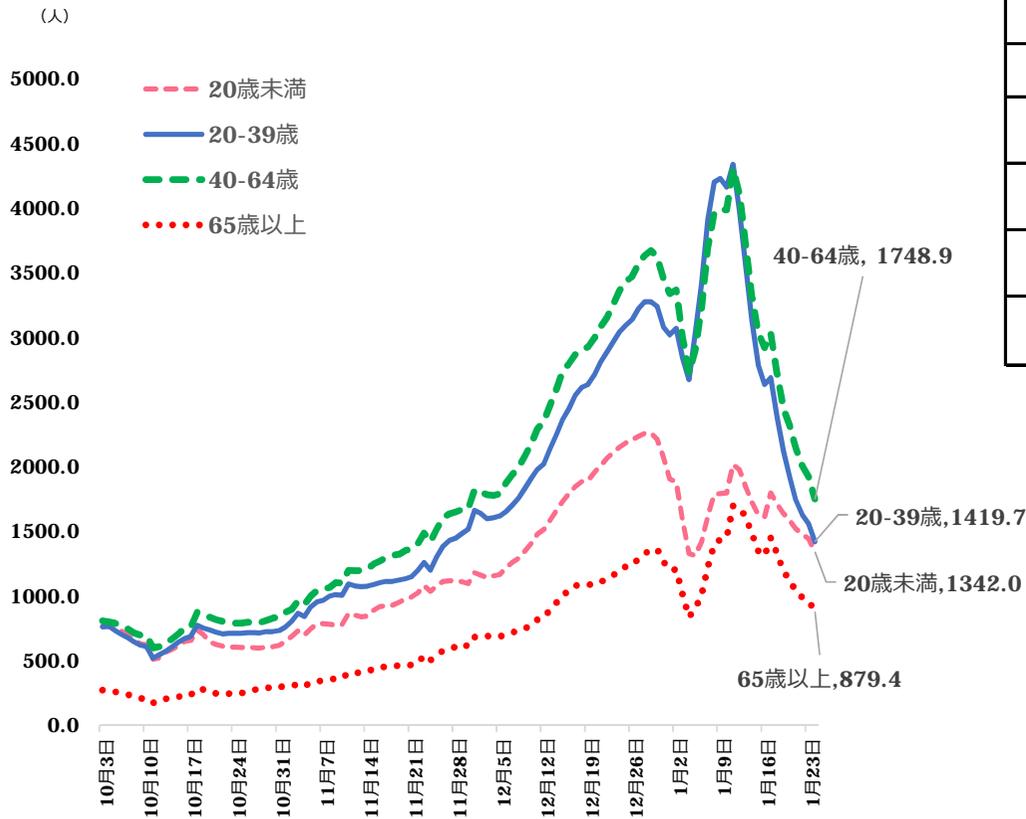
<（参考）第七波における最大陽性判明率>

・自費検査…14.6%（8/15～8/21）・無料検査…10.2%（8/1～8/7）

# 陽性者の年齢区分（1月24日時点）

◆ 直近の年代別新規陽性者数は、全年代で減少傾向。

【年代別新規陽性者数（7日間移動平均）】



【年代別新規陽性者数（7日間移動平均）前日増加比】

	1/16	1/17	1/18	1/19	1/20	1/21	1/22	1/23	1/24
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
20歳未満	0.99	1.11	0.95	0.96	0.97	0.96	0.97	0.98	0.93
20～39歳	0.95	1.02	0.89	0.89	0.91	0.91	0.94	0.96	0.91
40～64歳	0.96	1.04	0.90	0.90	0.94	0.93	0.94	0.96	0.91
65歳以上	0.97	1.11	0.92	0.90	0.94	0.92	0.96	0.97	0.91

前日増加比が1を超過した日

◆ 重症及び軽症中等症の病床使用率は、1月24日時点で50.04%と減少傾向。

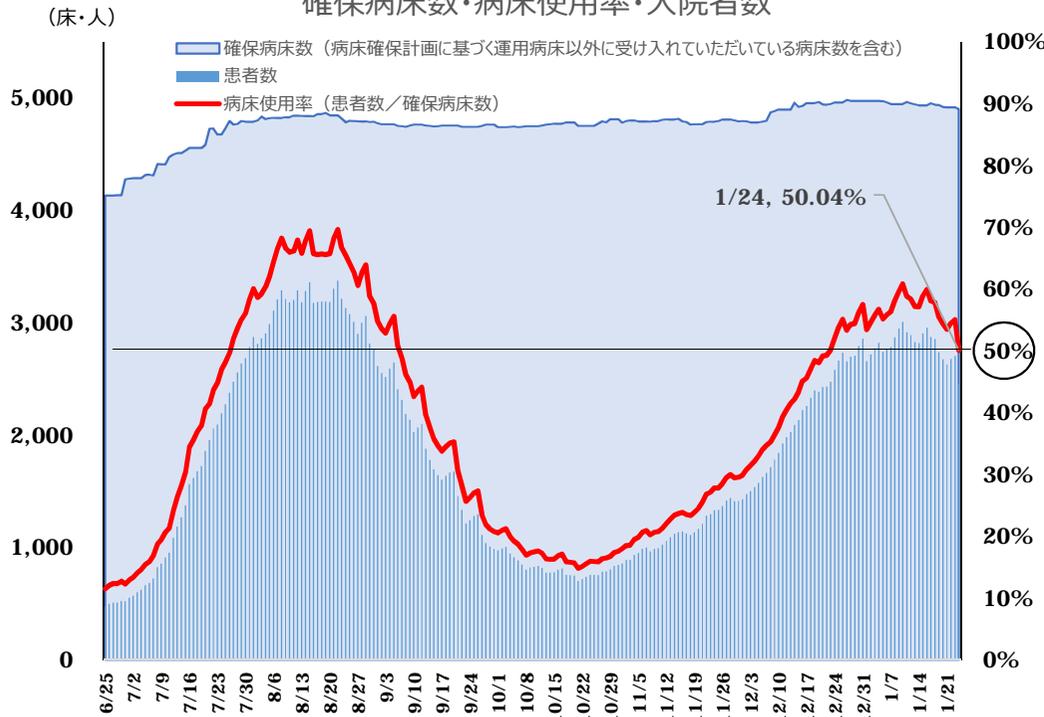
## ● 病床使用率・運用率

1月24日現在 **病床使用率50.04%**

**病床数 4,900床 入院患者数 2,452人**

※病床数には、病床確保計画に基づく確保病床以外の受入病床数23床を含める

確保病床数・病床使用率・入院者数



※大阪モデル赤信号消灯の目安は、以下すべてが目安に達した場合

- ①病床使用率 7日間連続 50%未滿
- ②重症病床使用率（府定義） 7日間連続 40%未滿

## ● 重症・軽症中等症病床使用率・運用率(1月24日時点)

	使用率	運用率
重症	15.3% (91人/594床)	35.1% (91人/259床)
軽症中等症	53.0% (2,361人/4,451床)	56.3% (2,361人/4,190床)

※病床数には、病床確保計画に基づく確保病床以外の受入病床数を重症病床8床、軽症中等症病床15床を含める。

※軽症中等症患者数には、コロナは軽症中等症だが、その他疾病で重症病床における入院加療が必要な患者数38人を含める。

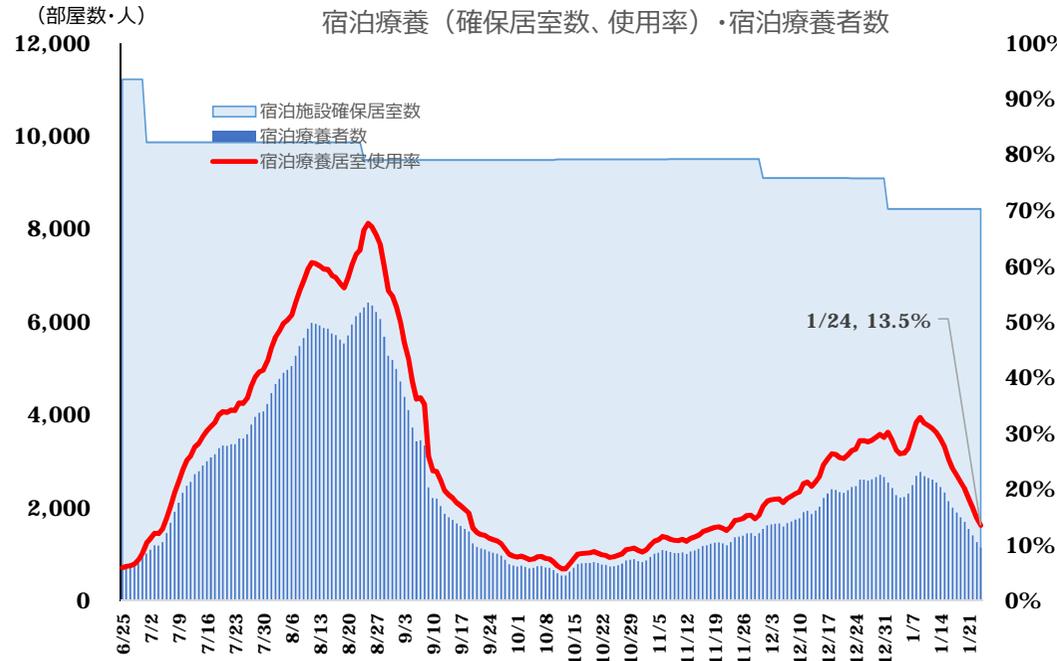
- ◆ 宿泊療養施設居室使用率は、1月24日時点で13.5%と減少傾向。
- ◆ 1月24日時点の自宅療養者数(参考値)は43,598人と減少傾向。

## ● 宿泊療養施設使用状況

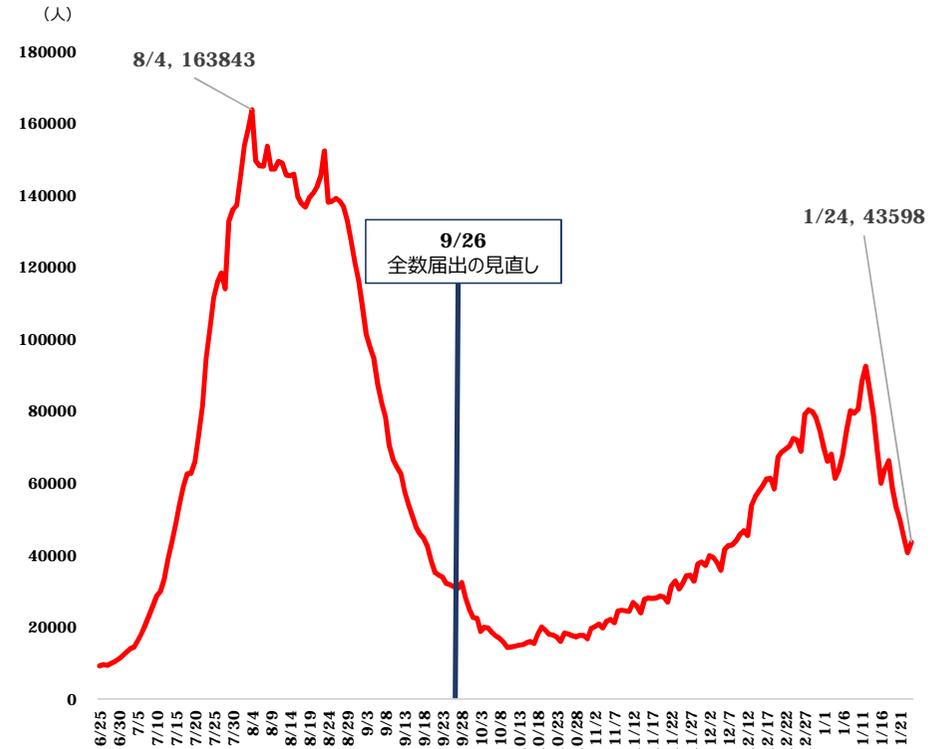
1月24日現在 **使用率13.5%**

居室使用数8,429室 療養者数 1,141人

**運用率18.4%** (運用居室数6,192室)



## ● 自宅療養者数(参考値)



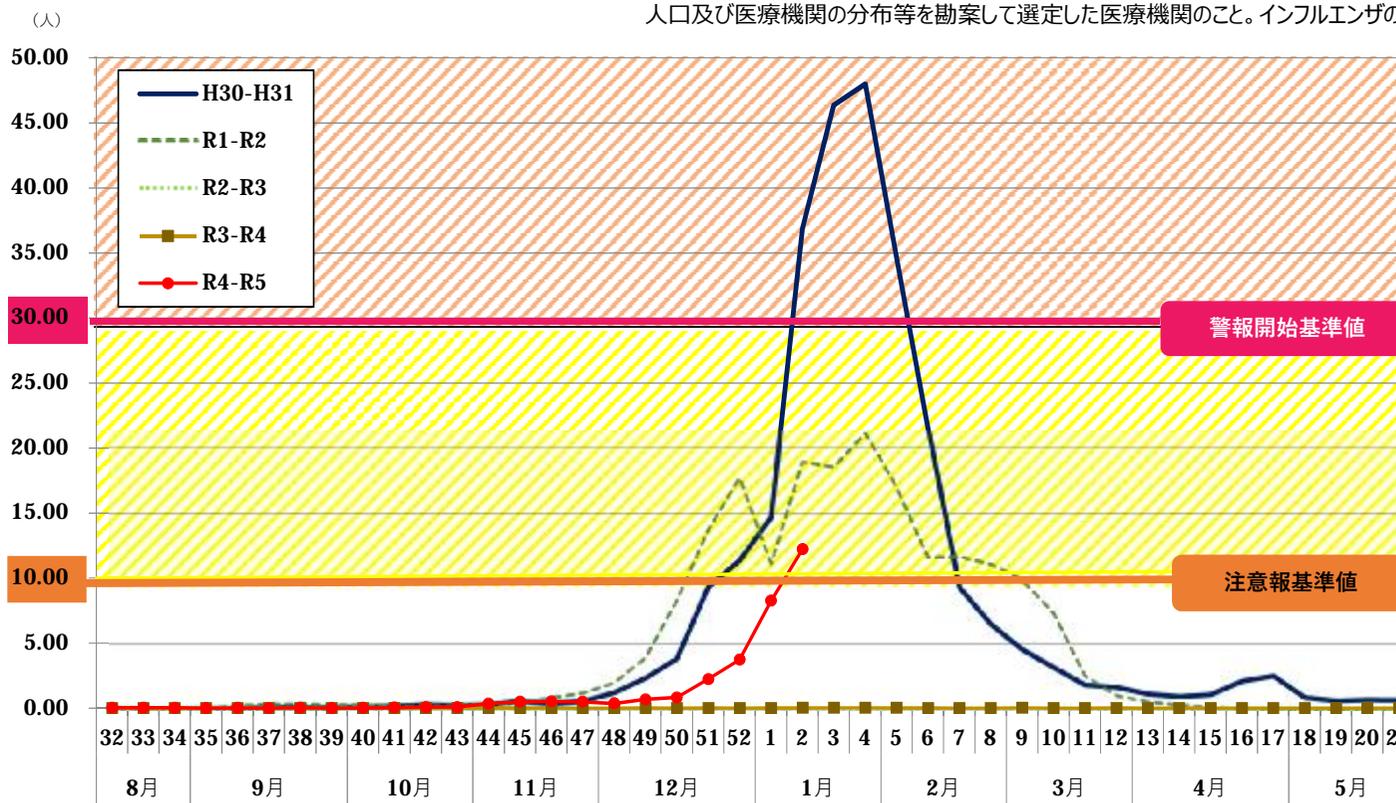
※令和4年9月27日以降は参考値。  
 「公表日から7日前までの陽性者数 - (公表日時点の入院者数 + 公表日時点の宿泊療養者数)」で算出。

# インフルエンザの流行状況（大阪府における定点あたりの患者報告数※の推移）

フリップ⑥

◆ 今年の第2週（1月9日～1月15日）では12.22で、前週の8.26から増加。

※「定点あたりの患者報告数」とは、定点医療機関からの総患者報告数を定点医療機関数で割った数のこと。  
 インフルエンザの流行期入りの目安は「1」。  
 定点医療機関とは、定点把握対象5類感染症（インフルエンザ等）の発生状況を地域的に把握するため、  
 人口及び医療機関の分布等を勘案して選定した医療機関のこと。インフルエンザの定点医療機関数は「300」。



## 救急搬送困難事案の状況について

フリップ⑦

- ◆ 府内の救急搬送困難事案(※)について、昨年11月から増加し今年1月9日には過去最大の351件となり、依然高い状態。
- ◆ 冬場は気温の低下により心疾患・脳血管疾患、呼吸器疾患などによる救急搬送が増加する傾向にあり注意が必要。

(※) 救急搬送困難事案:「医療機関への受入照会回数4回以上」かつ「現場滞在時間30分以上」の事案

大阪府（全圏域）における搬送困難事案件数（令和3年12月以降）



- ◆ 新型コロナウイルス感染症患者の医療・療養に従事する方を支援するため、令和2年4月に設置した「大阪府新型コロナウイルス助け合い基金」への寄附金の受付を令和5年1月31日をもって終了。

府民の皆様はじめ多くの個人・団体の皆様から多大なご寄附を賜り、誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

- ・これまでに賜ったご寄附  
(令和2年4月27日～令和4年12月31日時点)

件数: 28,538件

金額: 約45億1,713万円

- ・知事感謝状贈呈件数  
(10万円以上の寄付)  
件数: 8,033件



- ・これまでに行った医療従事者等への支援金贈呈結果

<第一次～第六次贈呈>

人数: 延べ 50,542人

<第七次贈呈>

令和5年1月末時点の基金残高をもって  
最終贈呈

(参考) 令和4年12月末時点の基金残高 約1.3億円

# 「国民保護共同実動・図上訓練」の実施について

フリップ⑨

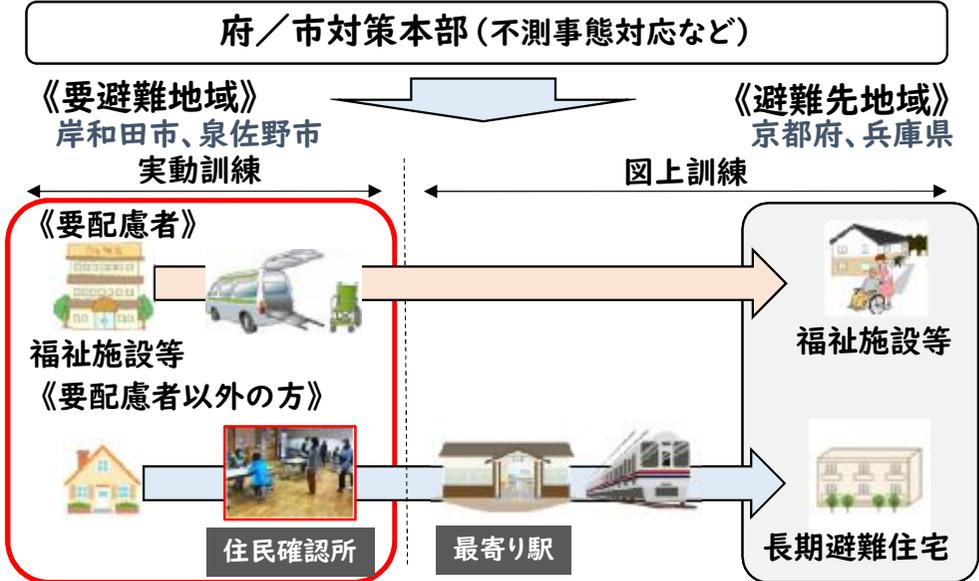
全国初となる都市部における武力攻撃予測事態を想定した国民保護共同実働・図上訓練を実施。

【訓練日時】 2月10日(金) 10:00 ~ 16:00

【訓練想定】

- ①某国と日本の関係悪化により、政府が**武力攻撃予測事態を認定**。全国の空港・港湾が攻撃の対象となる可能性が認められる。
- ②府内では、**阪南港(岸和田市)や関西国際空港(泉佐野市)**も攻撃目標となり得るため、当該地域住民を**京都府・兵庫県へ避難させる**。

【訓練概要】

<p>午前 《図上訓練》</p>	<p>◎<b>避難の方針策定について訓練</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国、各自治体の調整会議及び府国民保護対策本部会議を開催</li> </ul>
<p>午後 《図上及び実動訓練》</p>	<p>◎<b>避難要領・手順に基づく訓練</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内閣官房、消防庁、京都府、兵庫県、岸和田市及び泉佐野市をはじめとする行政機関や公共交通機関等約50機関と連携し、実動・図上による避難訓練を実施</li> <li>※特に要配慮者の避難を重視</li> </ul>  <p>The diagram illustrates the evacuation process flow. At the top, a box labeled '府/市対策本部(不測事態対応など)' points down to the '《要避難地域》' (Required Evacuation Area), which includes '岸和田市、泉佐野市'. From this area, a large arrow labeled '実動訓練' (Practical Training) points to the '《要配慮者》' (Persons Requiring Special Consideration) box, which contains '福祉施設等' (Welfare facilities, etc.). Below this, another arrow labeled '住民確認所' (Resident Confirmation Point) points to a '最寄り駅' (Nearest Station). From the station, an arrow labeled '図上訓練' (Tabletop Training) points to the '《避難先地域》' (Evacuation Destination Area), which includes '京都府、兵庫県'. This area contains '福祉施設等' (Welfare facilities, etc.) and '長期避難住宅' (Long-term evacuation housing).</p>

Jアラート※を通じて緊急情報が流れた場合

屋外

【爆風や破片などを避ける】



逃げる

近くの建物の中（できれば頑丈な建物）  
または地下へ

伏せる

近くに建物がない場合物陰に身を隠す  
または  
地面に伏せ頭部を守る



屋内

【爆風で割れた窓ガラスなどを避ける】



離れる

窓から離れるまたは窓がない部屋へ

(※)Jアラート(全国瞬時警報システム)

弾道ミサイル情報、緊急地震速報、津波警報など、対処に時間的余裕のない事態に関する情報を携帯電話等に配信される緊急速報メール、市町村防災行政無線等により、国から住民まで瞬時に伝達するシステム

避難の指示があった場合

- ・避難が必要となる場合は、テレビ・ラジオや市町村の防災行政無線を通じて、皆さんに情報が伝達されます。
- ・着上陸侵攻など広域的な避難を要する場合は、行政の指示に従い避難してください。

